

2015年8月25日掲載

第3種郵便物認可

9日に留学生ら成果発表

スタディ ジャパン 法政大の飯伊研修

法政大学は国際文化学部の留学生を対象にしたS・J(スタディ・ジャパン)国内研修を9月3日から7泊8日の日程で、飯田下伊那地域で繰り広げる。満蒙開拓や中国残留孤児、飯伊の多民族共生などの歴史をはじめ、文化や産業、まちづくりに関する学びを現地

法政大のS・J国内研修は、大都市とは異なる地方での学習を通じて、日本の歴史や社会、文化を多面的に考える目を養ってもらうことなどが狙い。飯伊で4回目となることは飯田市や松川町、阿智村、天龍村などを舞台に学ぶ。

町の戦闘機墜落現場などを訪れ、関係者から説明を受ける。飯田市の美術博物館や川本喜八郎人形美術館の見学、地域おこしや公民館活動の講義、飯田風越高校国際教養科の生徒との交流なども予定している。

9月9日の成果発表会は、韓国と中国からの2年生の留学生3人が事前学習の内容を踏まえ、8日間の研修で得た学びや気付きも加

えて発表する。テーマは▽満州移民の歴史と

飯田餃子
0118-010010-01000
辻木 薫 丁

移民による残留孤児および二世、三世の問題
▽飯田・下伊那の多民族共生▽義勇軍と残留孤児を予定してい

きょうの紙面

- 2 阿智で安保法案反対アピール
- 3 各地で秋祭りスタート
- 4 下伊那の書展出品作品
- 5 読者文芸
- 6 チャレンジ創造コンテスト
- 7 法政大の飯伊研修